

平成30.02
18.FEB

HATSUTA
WORK
GOODS

HR-1

【取扱説明書】



 **初田拡撒機株式会社**

<http://www.hatsuta-ksk.co.jp>

本社 大阪市西淀川区千舟1-5-58

TEL (06) 6472-3857

FAX (06) 6471-6336

東京(営)東京都足立区入谷2-19-4-401

TEL (03) 3897-8095


FAX (03) 3897-8097

目次

はじめに	4
安全上の注意	5
まえがき	6
ラベルの説明	7
1 仕様と性能	8
2 各部の名称と働き	9
3 作業する前の安全ポイント	11
4 定期点検	12
4-1 定期点検一覧表	12
4-2 定期点検整備記録簿	13
5 作業手順	16
6 故障の原因と対策	17
7 保管の注意	17

はじめに

このたびは、ハツタレノベーターHR-1をお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はレノベーターの持つ性能を十分に発揮して頂きますよう正しい取り扱い方と、簡単なお手入れ方法について説明してあります。またコース管理作業者として最低限必要な心構えなどについても記してあります。安全で快適な作業を行って頂くために、ご使用前に本取扱説明書を、よくお読み頂き正しく本製品をお使い下さい。

この取扱説明書は、いつでも内容が確認できるように大切に保管して下さい。この取扱説明書では守って頂きたい安全のポイントをその都度  のマークを表示し説明しております。安全のポイントをよく理解していただき事故のない安全な作業をして下さい。

注意

安全な作業をするために

衣服の一部や頭髮・手ぬぐい等が機械に巻き込まれる事のないように服装を整えて下さい。

機械の回転部は最も危険な個所です。運転中は触れないで下さい。また他の人を近づけないで下さい。機械の点検・清掃時は必ずトラクタ等の牽引車のエンジンを停止し回転部が停止して機械の各部が常温になってから行って下さい。

次の方は作業に従事しないで下さい。

- ・酒気をおびた人
- ・過労・病気・薬物の影響その他の理由により正常な作業のできない人
- ・妊娠中の人
- ・18才未満の人
- ・負傷中の人

安全上の注意











安全対策

警告

- ◎ カバー類は全て正規の位置に取り付けて置く事。
- ◎ 駐車時は次の事を必ず行う事。
 - ・平坦な場所を選んで下さい。
 - ・車輪止めをする。
- ◎ 機械の修理・調整等をする時は次のことを必ず行う事。
 - ・すべての動きが完全に停止してから作業を行う。
 - ・機械の周囲の安全を確認する。
 - ・機械各部の土砂・埃は必ず清掃する。

本取扱説明書に記載しております定期点検一覧表に基づいて点検整備をお願いします。

- ◎ 始業点検・終業点検は毎日行う事。

-  この取扱説明書をよく読んで機械をよく知る事。取り扱いを誤りますと故障や事故につながります。
-  機械を子供に操作させない事。また大人でも適切な教習をせずに操作させない事。
-  機械を使用する作業地を事前に十分調べる事。
また、頭上のスペースや高圧ケーブルに常に注意を払う事。(特に機械の移動時)
-  作業は日中または十分な照明のある時に限定する事。
-  傾斜地の駐車は絶対にしないで下さい。平坦な場所で駐車して必ず車輪止めをして下さい。
-  部品が曲がったまま、あるいは欠品になっている機械を稼働させてはならない。
機械及びアタッチメントをいつも使用できる状態に整備しておく。
-  安全装置は取り外さない事。
-  作業機を異物にぶつけた時は機械を止めて損傷がないか確認する事。損傷があれば修理するまで機械を使用しない事。
-  作業中は前後左右の安全を確認し周囲の人に注意する事。
-  十分な資格のあるサービスマンに少なくとも年に1回機械を点検させる事。

まえがき

本取扱説明書はハツタレノベーターHR-1の組立・運転・保守・調整・要領を説明しております。本製品を操作する前に作業者はこの取扱説明書をよく読み理解して下さい。

指示された操作及び保守要領に従う事によって本製品の寿命を延ばし最大限の能力を発揮させる事ができます。

さらに詳細な事項、又はメカニックによるサービスが必要な場合ハツタの販売店に連絡して下さい。ハツタの販売店はすべての最新のサービス方法に精通しており適切・迅速なサービスを提供するものに必要な設備を完備しています。ハツタ代理店・販売店はハツタのサービスパーツを十分に在庫しており、または工場から迅速に取り寄せる事ができます。ハツタ純正パーツ、又はハツタが特に認定したパーツ以外を使うと保証は無効となります。

※パーツを発注する際はパーツの名称・必要数量に加えて本製品の型式・機体番号を連絡する事。

機体番号は本体フレーム前部の銘板に記載してあります。いつでも参照できるようにこの番号を下記に記録しておく事をお勧めします。

型式 **HR-1**

機体番号

取扱説明書に示す図の一部は、わかりやすくする為にカバー・安全ガードをはずした状態で示しております。しかしいかなる場合もこれらの安全装置を絶対にはずして運転しないで下さい。必ず安全装置を所定位置に確実に取り付けて運転して下さい。

機械の仕様につきましては予告なく変更する場合があります。

ラベルの説明

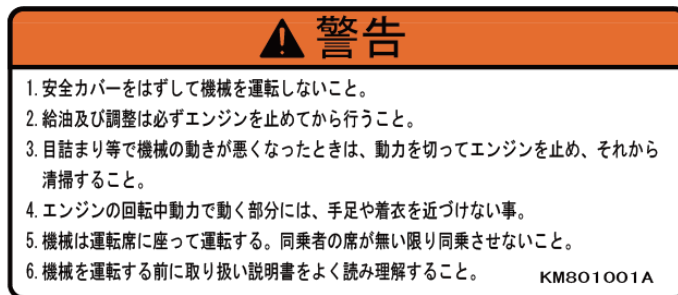
⚠ 取扱説明書の『⚠ 危険』・『⚠ 警告』とか『⚠ 注意』の表示は次のような安全上及び、取り扱い上重要な事を示しております。

HR-1の安全な作業上、非常に重要ですので必ず守って下さい。

表 示	重 要 度
⚠ 危 険	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う事になるものを示しております。
⚠ 警 告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う事になるものを示しております。
⚠ 注 意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しております。

※HR-1のラベルが損傷したら、直ちに取り替える事。

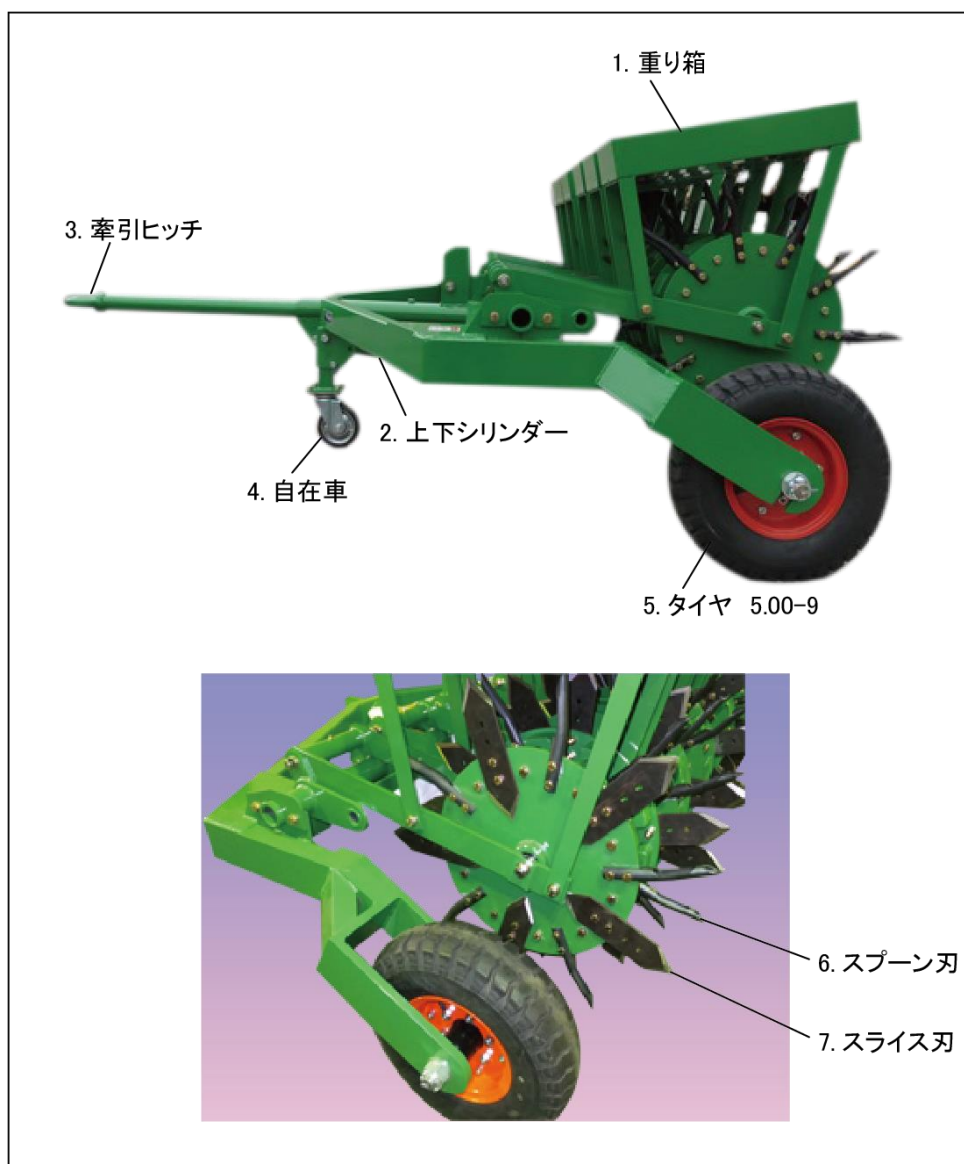
- ・機械に貼ってあるラベルが破損したり、無くなったり塗料がついたり、または読めなくなったら新しいラベルに貼り替えて下さい。
- ・ラベルが付いている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に交換して下さい。
- ・ラベルは機械のお買上げ先に注文して下さい。注文の際にはラベルの番号を提示して下さい。



1.仕様と性能

型 式		HR-1
機 体 寸 法	全長	2550mm
	全幅	2520mm
	全高	950mm
	乾燥重量	910kg
作 業 部	有効幅	1760mm
	作業能率	時速4km/h 7,040㎡
	爪数	スプーン刃60本 スライス刃60 合計120本
	前輪タイヤ	自在車 WJ-150
	後輪タイヤ	5.00-9

2. 各部の名称と働き



① 重り箱

本製品に取り付けているスプーン刃・スライス刃をより土中深く入れるために、砂袋等を入れる箱です。

② 上下シリンダー

本製品を上下させる単動シリンダーです。
走行時は上げて作業時は下げます。

③ 牽引ヒッチ

本製品を牽引時に使用いたします。取り付け穴はφ70です。

④ 自在車

キャスター機能付き車輪

⑤ タイヤ

タイヤサイズ 5.00-9

⑥ タイン【スプーン刃】

刃先内径φ13 外径φ26 60本

⑦ タイン【スライス刃】

三角両刃 厚み6mm 巾70mm 60本

3.作業する前の安全ポイント

本製品を初めて運転するときは、本製品の構造・機能を十分理解し、機械の正しい操作方法を完全に習熟してから運転する事。

作業者は、本取扱説明書全体を注意して読み、理解する事。

◎始業点検

何事も最初が大切です。毎日の運転において故障を未然に防ぐためには、本製品の状態をいつも知っておく必要があります。その為には毎日一回運転を開始する前に、作業者自身での点検（始業点検）が必要です。



注意

〈始業点検を始める前には、必ず次の事を守って下さい。〉

- ・本製品は水平な場所にあり、周囲が危険な場所でない事を確認して下さい。
- ・本製品が確実に駐車した状態である事。
場合によっては、車止め等にて固定する事。

1. 上下シリンダー

上下シリンダー・油圧ホースに油漏れがないか点検願います。

2. タイン【スプーン刃・スライス刃】

スプーン刃・スライス刃の取り付け・亀裂・損傷・摩耗の点検願います。

取り付けに緩みがある場合は確実に締め付けて下さい。

また亀裂・損傷・摩耗がある場合は新品に交換して下さい。

3. タイヤ

前輪 5.00-9 ゴムタイヤです。

使用前にはタイヤに亀裂・空気圧不足がないか細かく確認して下さい。

4.定期点検

4-1 定期点検一覧表

	定期点検項目	始業 点検	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	24ヶ月	備考
			又は 50H	又は 100H	又は 200H			
作 業 部	上下シリンダー油漏れ点検	○						
	油圧ホース油漏れ点検	○						
	タイヤの摩耗・亀裂・損傷	○						
	タイヤ取付ボルト・ナット	○						
	タイヤ点検	○						
	各部ネジの緩み	○						
	各部給油脂箇所			○				
	前回運行で異常が見られた箇所	○						

4-2 定期点検整備記録簿

(1) □ヶ月点検整備

実施する定期点検整備の点検時期を「○」で囲みます。

(2) 機体番号

機体に貼付してあります機体番号マークをみて、記入して下さい

(3) 点検結果及び整備の概要

1) 点検の結果異常がなかった場合には、その点検項目のチェック欄(□)に「レ」を記入します。

2) 点検の結果異常があり、必要な整備を行った場合には、下記表の整備作業区分による「チェック記号」を用いてチェック欄に記入します。整備作業が重複して行われた場合には、表中の記載順位が最も高い物を記載します。

3) 点検又は整備が分解を伴って行われたときは、「チェック記号」を○で囲みます。

(4) 点検又は整備を実施した者の氏名

点検又は整備を実施した者の氏名を記入します。また、点検と整備を実施した者が異なる場合は、両者を記入します。

(5) 点検の年月日・整備を完了した年月日

点検の年月日・整備を実施した年月日をそれぞれ記入します。

(6) 記事（主な交換部品・測定結果等）

整備の際に交換した主な部品や、測定結果などを必要に応じて記入します。

チェック記号の記入順位

順位	作業区分	チェック記号	意味
	点検	レ	点検結果、異常が無かった
1	交換	×	点検結果、交換した（部品・油脂）
2	修理	△	点検結果、修理した（摩耗・損傷）
3	調整	A	点検結果、調整した（機能維持のため）
4	締付	T	点検結果、締付した（緩んだ箇所を増し締め）
5	清掃	C	点検結果、清掃した（粉塵・油等）
6	給油	L	点検結果、給油した（油脂・液類を補給）

定期点検整備記録簿

点検	レ	交換	×	締付	T
		修理	△	清掃	C
分解	○	調整	A	給油	L

型 式 : HR-1

機体番号 :

1, 3, 6, 12ヶ月定期点検整備

点検の結果及び整備の概要

作業部

- 上下シリンダー油漏れ・損傷
- 油圧ホース油漏れ・損傷
- タインの摩耗・亀裂・損傷
- タイン取付ボルト・ナット
- タイヤの摩耗・亀裂・損傷

その他

- 各部の給油脂状態
- 締め付け部の緩み
- 他

記事

点検又は整備を実施した者の氏名	点検の年月日	整備を完了した年月日	点検時の積算時間
	年 月 日	年 月 日	(h)

点検の結果及び整備の概要

作業部

- 上下シリンダー油漏れ・損傷
- 油圧ホース油漏れ・損傷
- タインの摩耗・亀裂・損傷
- タイン取付ボルト・ナット
- タイヤの摩耗・亀裂・損傷

その他

- 各部の給油脂状態
- 締め付け部の緩み
- 他

記事

点検又は整備を実施した者の氏名	点検の年月日	整備を完了した年月日	点検時の積算時間
	年 月 日	年 月 日	(h)

定期点検整備記録簿

点検	レ	交換	×	締付	T
		修理	△	清掃	C
分解	○	調整	A	給油	L

型式： HR-1

機体番号：

1, 3, 6, 12ヶ月定期点検整備

点検の結果及び整備の概要

作業部

- 上下シリンダー油漏れ・損傷
- 油圧ホース油漏れ・損傷
- タインの摩耗・亀裂・損傷
- タイン取付ボルト・ナット
- タイヤの摩耗・亀裂・損傷

その他

- 各部の給油脂状態
- 締め付け部の緩み
- 他

記事

点検又は整備を実施した者の氏名	点検の年月日	整備を完了した年月日	点検時の積算時間
	年 月 日	年 月 日	(h)

点検の結果及び整備の概要

作業部

- 上下シリンダー油漏れ・損傷
- 油圧ホース油漏れ・損傷
- タインの摩耗・亀裂・損傷
- タイン取付ボルト・ナット
- タイヤの摩耗・亀裂・損傷

その他

- 各部の給油脂状態
- 締め付け部の緩み
- 他

記事

点検又は整備を実施した者の氏名	点検の年月日	整備を完了した年月日	点検時の積算時間
	年 月 日	年 月 日	(h)

5.作業手順

A 着脱

本製品と接続するトラクタフロントにウエイトが取り付けられていることを確認してください。必ず平坦で固く整地された場所で、トラクタドローバーに牽引ヒッチを確実に取り付けして下さい。上下シリンダーとトラクタ吐出（出力）ポートの間に油圧ホース1本を接続（※1）して下さい。

※1 本製品は3/8 油圧ホースとワンタッチカップラーが標準となっています。

周囲の安全を確認後、トラクタのエンジンを始動させて、トラクタの作業機上下レバーで、本製品が上下するか確認して下さい。



B 作業

- (1) 重り箱に砂袋等の重量物を入れて下さい。
- (2) 作業場に到着しましたら、トラクタの作業機上下レバーで本製品を下げ作業を行って下さい。作業推奨スピードは時速4~6km/hです。

※本製品後部は危険ですので注意して下さい。

⚠ 注意

作業中は、飛び石等に注意すること

<作業が終了したら>

エアー又は水洗いにて本製品を洗浄して下さい。

- (1) 本製品の汚れを丁寧に拭き取って下さい。土砂が付着したままになっていると固着し故障の原因となります。
- (2) 次回の作業に備え、損傷箇所・消耗部品はないか？よく点検しておきましょう。

6.故障の原因と対策

兆候	原因	対策
回転板が回転しない	ベアリングの摩耗、損傷	ベアリング 交換
	タイヤが土壌面まで落ちていない	トラクタ作業機レバー 点検
	回転フォーク部の固着	グリスアップ
本体が上下しない		トラクタ作業機レバー 点検
	回転フォーク部の固着	グリスアップ
	上下シリンダー	点検

7.保管

全般

機械をしばらく使わないときは屋根のある場所に保管する事。雨風にさらすと外観が損なわれるだけでなく寿命を縮めます。